



2025年2月3日

日本オリジナル・コンセプト・モデル「BMW X7 錦ラウンジ」が完成

「BMWと日本の名匠プロジェクト」第四弾モデル

BMW屈指のラグジュアリー・モデルと日本の伝統工芸による最高峰のコラボレーション

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長：長谷川正敏）は、BMW X7をベースにした日本オリジナルとなるコンセプト・モデル「BMW X7 錦ラウンジ（NISHIKI LOUNGE）」を誕生させ、ラグジュアリー・ブランドとしてのBMWブランドの一面を表現すると同時に、BMWブランドの世界観を表現する。

「BMW X7 錦ラウンジ」は、高級感溢れる凛とした存在感と、ラグジュアリー・モデルに相応しい乗り心地、最大7人乗りを可能とする高い実用性を備えたBMW X7をベースに、日本の伝統工芸を惜しみなく施しその魅力を高めたコンセプト・モデルである。

BMW X7をベースにした限定モデルは、2021年9月に発表の「BMW X7 西陣エディション（NISHIJIN EDITION）」以来、約3年ぶりである。「BMW X7 西陣エディション」は、「『光』がうつろう、明るくクリーンな新時代のラグジュアリー空間」をコンセプトに、外界から閉鎖された古典的なラグジュアリー空間とは異なり、BMW X7の持つ、明るく、クリーンな新時代のラグジュアリー空間を表現すべく、日中の光のうつろいを西陣織の芸術的な織面により、個性的な美しさを提案するモデルとして制作され、日本国内限定3台にて販売を行なった。

今回発表の「BMW X7 錦ラウンジ」は、「BMW X7 西陣エディション」から時間がうつろい、夜のとばりが下りた世界を表現している。「『星』がきらめく、美に満たされたやすらぎの空間」をコンセプトに、優しく広大なやすらぎの空間を表現すべく、BMW独自装備の上質な輝きと、京都伝統工芸の技による星空の広がりを芸術的に表現し、今宵も貴方に特別なひと時を授けることを表現したコンセプト・モデルである。

コンセプト・モデルの名称に「錦」を用いたのは、「錦」は色とりどりの糸で織られた絹織物だけでなく、自然の彩りや「心の錦」「錦心」など心の美しさを表す単語でもある。なおかつ「錦」の語源は「二色」であることから「夜のとばりがありて輝く星」と「二つの美しい色できらめく世界」がコンセプト・モデルの持つラウンジ空間のイメージと合致することに由来する。

「BMW X7 錦ラウンジ」の外装は、コンセプトを二色で表現した専用2トーン塗装である。BMW Mトリコロール・カラーの中心色であるブルーであり、BMWブルーの中でも、最も柔らかな色調であるBMW Individualカラーのベルベット・ブルーをメイン・カラーに用い、宇宙に輝く星雲の煌めきを表現するため、スペース・シルバーにてルーフ部分を塗装している。

また、BMW独自のクラフトマンシップから妥協なき美意識を表現。外装には、宝石のような無限の輝きを放つ「クリスタル・ライト・ヘッドライト」、優しい光を放つ「アイコニック・グロー」を装備している。内装には1万5,000個ものLEDにより青白い星の光を夜間に主張する「パノラマ・スカイルーフ」、地上に輝く光を音で表現する「B&Wダイヤモンド・サラウンド・サウンド・システム」、光を反射した上質な輝きを放

つ「クラフテッド・クリスタル」を装備している。

BMW X7 錦ラウンジ最大の特徴である工芸架飾

川島織物セルコンによるフロア・マット

すべてのフロア・マットは、川島織物セルコンによって仕上げられている。優しく包み込み、光り輝く安らぎの夜空を、一本の糸を部分的に染め分ける染色方法である絣染めを用いて表現することで、乗員を心地良い雰囲気に誘っている。デザインのテーマは宇宙であり、星の煌めきを表現するためにシルバー系の糸ではなく、敢えて、扱いが難しい絣を用いている。また、宇宙を表現するため、絣糸、紫、紺、黒の4色の中から選んだ5本を撚り合わせた7種類の撚糸を使用している。

川島織物セルコンは、1843年に京都で創業した織物メーカーであり、古くは明治宮殿、近年では京都迎賓館や数々のラグジュアリー・ホテルに織物を納入するなど、その唯一無二のクオリティーが高く評価されている。熟練の職人による伝統的な手織り技術に加え、現代ならではのテクノロジーを駆使した機械織りも積極的に取り入れ、文化の継承と未来へつながる技術革新の探求に力を注いでいる。

楽芸工房によるトリム

トリムおよびシフト・スイッチ、iDrive コントローラー周りには、楽芸工房によって仕上げられている。広大な宇宙空間と煌めく星々を箔装飾で表現することで、車室内を豪華絢爛に彩っている。漆を接着剤として利用する技術を用い、漆を使う量を繊細に操ることにより、貼り付ける箔の輝き、色味を変化させ、繊細な輝きを演出している。

楽芸工房は、京都・西陣で箔屋としての歴史を重ねてきた村田商店の直営工房・意匠部として平成元年に創業し、西陣織の特徴のひとつである引箔の製造を行なっている。300年以上前に開発されたと言われているこの引箔による箔を織り込む技術を、楽芸工房は今もなお支え守り続けている。世界に誇る西陣織の芸術性と高度な技術を継承する一方、伝統工芸の枠を超えた新たなモノづくりにも積極的に取り組んでいる。

kuska fabric と楽芸工房によるセンター・コンソール

センター・コンソールは、kuska fabric と楽芸工房によって仕上げられている。宇宙空間の果てしない広がりを丹後織と箔装飾で表現することで、日本独特の和のイメージと、ドイツのクラフトマンシップを融合している。「星がきらめくやすらぎの空間」をコンセプトに、機械を使用することなく手織りのジャガード織りにこだわり、さらに、4mm、3mm、2mmとレザーの太さを変えることによって平面的ではなく、繊細かつ立体的な仕上がりとし、その上に施された箔装飾によって星がきらめく世界観を表現している。

kuska fabric は1936年にちりめん製造販売業を開始し、1つ1つの素材と対話をし、1越しひとつこし職人の手仕事から生まれる豊かな膨らみと陰影、そして優しい風合いを未来に届けている。「丹後織物300年の美しいものづくりと誇りを胸に」唯一無二のグローバル・ブランドを目指している。

BMW X7について

BMW X7は、高級感溢れる威風堂々としたデザインと、ラグジュアリー・モデルに相応しい乗り心地、最大7人乗りを可能とするSAVとしての高い実用性を備えたモデルとして、2019年に誕生した。存在感溢れるボディ・サイズ、堂々たる佇まいを備えたエクステリア・デザイン、ロング・ホイールベースによる余裕があり乗員が長時間快適に過ごせるラグジュアリー感溢れる室内空間、路面状況を各ホイールのセンサーで感知し車高を自動調整する4輪アダプティブ・エア・サスペンションを採用する等、最高級SAVとしての要件をすべて満たしている。

また、BMW社が初めて国土交通省からの認可を取得した、一定の条件下において、ステアリングから手を離

しての走行が可能なドライバーの運転負荷を軽減し安全に寄与する運転支援システム「ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能」、AR（拡張現実）機能搭載の「ナビゲーション・システム」や、事前に登録した駐車操作により、ステアリング操作、ブレーキ操作を自動で行なう事が可能な「パーキング・マニューバ・アシスト（駐車経路自動誘導）」機能を加えた「パーキング・サポート・プロフェッショナル」を新たに標準装備する等、多くの最新テクノロジーを採用している。

2022年には、一部改良を実施し、現行のBMW X7は、印象的な上下2分割のツイン・サーキュラー&ダブル・ライトに加え、暗闇で光を放ち存在感を増すアイコニック・グロー・キドニー・グリルからなる、新しいBMWラグジュアリー・フェイスを採用し、路上での圧倒的な存在感を放っている。

本件に関する読者および視聴者からのお問合せ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>